

# 第2期清川村健康増進計画・食育推進計画

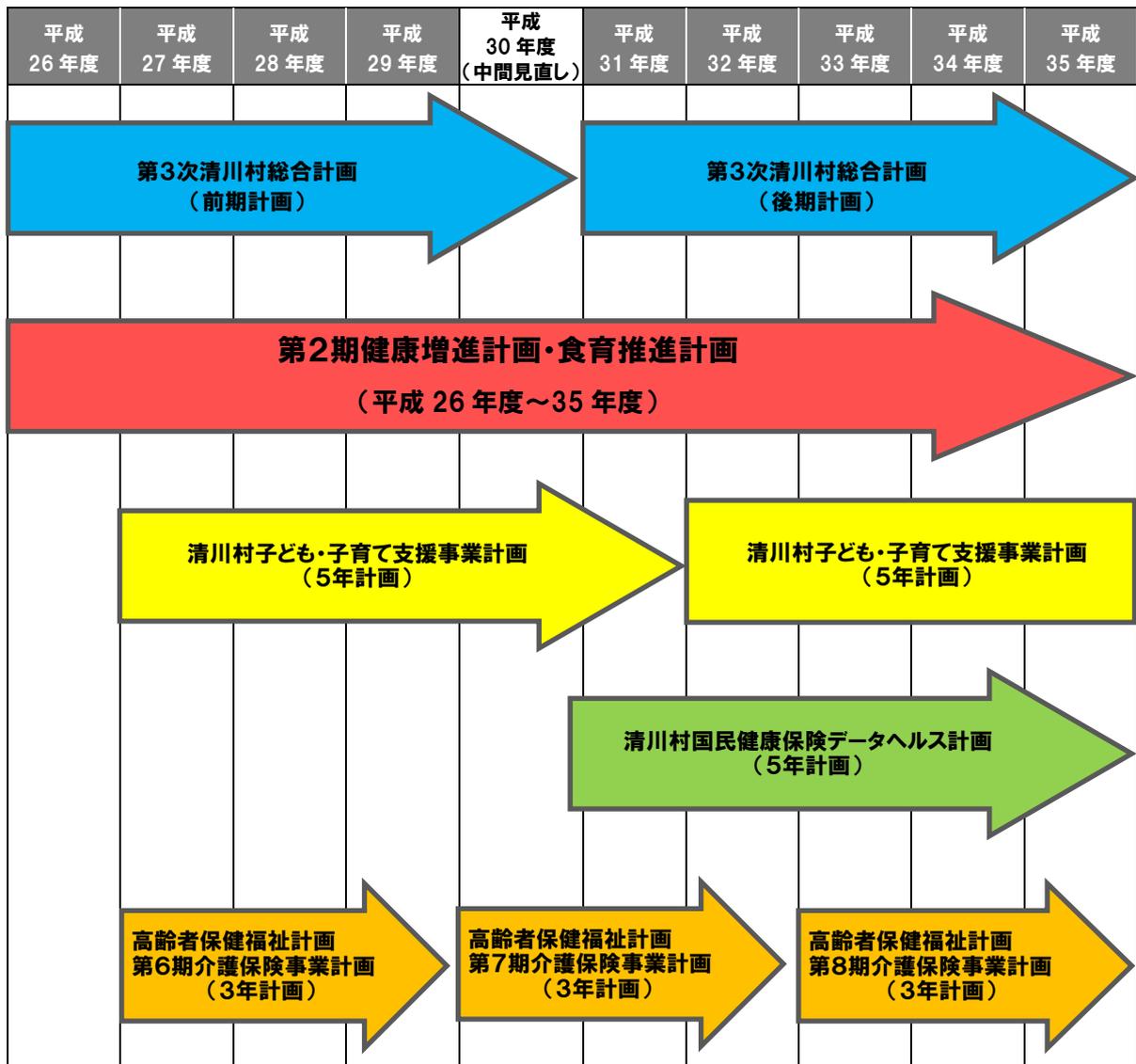
## 中間見直し

平成31年3月

## 1 本報告書の位置づけ

清川村において、平成 25 年度に「第 2 期清川村健康増進計画・食育推進計画」を策定し、平成 26 年度から平成 35 年度を計画期間として実施しています。

この計画は、「第 3 次清川村総合計画」（平成 26 年度～平成 35 年度）と整合性を図り、「清川村子ども・子育て支援事業計画」（平成 27 年度～平成 31 年度）を推進するとともに、神奈川県より未病センターの認証を受け、本計画の事業と連携し、より効果的な推進を目指した取り組みなどを踏まえ、これまでの本計画の実施状況について、中間見直しを行いました。



## 2 中間見直しの方法

平成 29 年度までの事業の実施状況について、点検・評価を行い、平成 31 年度からの実施計画の策定については、以下の 3 段階で中間見直しを行いました。

### 第 1 段階「中間見直し①」

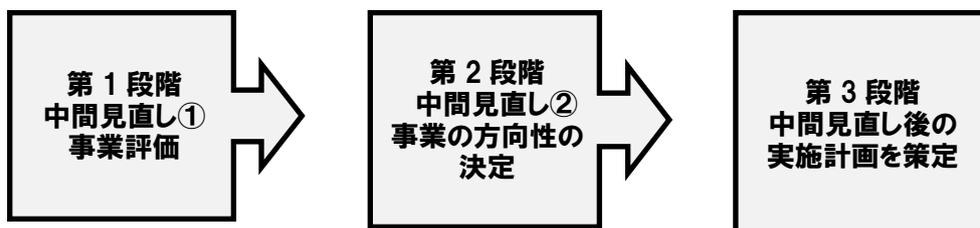
「第 2 期清川村健康増進計画・食育推進計画」の全 15 事業につき、平成 29 年度までの実施状況について、事業評価を行い、問題点・課題の整理及び今後の継続、統合、変更、廃止の提案を行いました。また、清川村健康増進計画・食育推進計画推進協議会（以下「協議会」という。）において検討のうえ、今後の方向性を決定しました。

### 第 2 段階「中間見直し②」

中間見直し①の結果に基づき、平成 31 年度以降の実施内容について、協議会において検討のうえ、今後の事業の方向性を決定しました。

### 第 3 段階「計画策定」

中間見直し②に基づき、実施計画（案）を提示し、協議会において検討のうえ、策定しました。



## 3 中間見直し①「事業評価」(第1段階)

「第 2 期清川村健康増進計画・食育推進計画」の各事業につき、評価用一覧表を作成しました。一覧表には事業の概要、事業段階を明示し、平成 29 年度までの評価を記入しました。評価については「事業評価」のストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカムの 4 つの軸により、担当者の負担感、今後の方向性、問題点や課題などを挙げました。

この一覧表に基づき、協議会において、今後の方向性として「1. 事業を終了すべき」、「2. 事業内容を変更すべき」、「3. 他の事業と統合すべき」、「4. そのまま継続実施すべき」の 4 段階の評価を行いました。

## 1) 乳幼児期

乳幼児期では、4事業のうち2事業（1-1 ママの笑顔と元気大作戦、1-2 清川村健康体操をつくり広めよう）は、終了と判定されました。

1-1 については、策定時のアンケート結果から、乳幼児期の子どもを持つ保護者の育児ストレスが高くなっていることから、保護者が交流・集える場所やリフレッシュする場を作ることをあげました。

計画を推進する中で、「清川村子ども・子育て支援事業計画」が策定され、一時預かり事業、延長保育事業の普及、やまびこ館内での母子保健室の定期的な開放が始まるなど、充実してきていると判断され、本事業は終了と判定されました。

1-2 については、策定当初は、実行委員会の設置等を検討しましたが、村の特性を踏まえた新たな体操の作成・普及の人材確保が困難であると判断され、終了となりました。

1-3 については、事業実施ができており、引き続き事業の継続と判定されました。

1-4 については、キャンペーン月間の周知方法を変更し、一部事業は使用基準の見直しなども入り、取り組み内容の変更と終了するものができました。

## 2) 学童・思春期

学童・思春期では、2事業（2-1 安全意識を高める啓発 小学生（IT・メディア・喫煙・飲酒）中学生・高校生（薬物）、2-2 運動習慣をつけていこう）が、共に学校活動に合わせた啓発を行う必要があると判定され、2事業ともに変更となりました。

## 3) 青・壮年期

青・壮年期では、5事業のうち1事業（3-1 男の健康づくり）が、変更となりました。

当初計画した食をきっかけとした検討会は行えませんでした。2年連続して食育アドバイザー養成講座に男性が参加するようになったことから、今後はアドバイザーとなった方々に協力してもらえよう変更となりました。また、その他の4事業については、継続となりました。

## 4) 高齢期

高齢期では、4事業のうち2事業（4-2 元気高齢者健康リーダーの育成と高齢者の自主的健康増進活動の普及、4-3 余裕な時間の地域貢献）が、終了となりました。

4-2 については、地域のサロン活動でそれぞれの参加者ができる役割を持ち寄り、リーダーとなる人がいなくても運営できており、リーダー育成をしていく必要はないと判定されました。

4-3 については、既に清川村社会福祉協議会がボランティア活動の窓口となり活動していることから、重複して事業を行う必要はないと判定されました。

4-4 については、情報発信の場としてサロン活動が自主的に行っている地区もある一方で、一部地域では支援が必要な地域もあるなどの課題が出され、変更となりました。

1) 乳幼児期

ライフステージ	事業番号	事業名	事業目的	事業概要	事業段階	平成29年度までの評価
					1.未検討 2.計画検討中 3.事業着手中 4.事業実施中 5.事業終了検討 6.事業終了済	ストラクチャー
1 乳 幼 児 期	1   1	ママの笑顔と元気大作戦	アンケート結果から「乳幼児期保護者の育児ストレスが高くなったこと」がわかり、日常的にママ同士が交流、リフレッシュできる場を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶やケーキもあるなど、気軽に行けるような、保護者が集える場所をつくる。(スタッフは福祉就労を検討)</li> <li>安心して子どもを連れて行ける場をつくる。</li> <li>「子ども・子育て支援事業計画」との整合性をとる。</li> </ul>	2  (検討中)	1  (未確立)
	1   2	清川村健康体操をつくり広めよう	子ども達も参加しやすく、大人も一緒にできる運動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民による実行委員会を設置する。</li> <li>オリジナル曲で「子ども向け」「高齢者向け」の体操を考案する。</li> <li>イベントを通じてPRする。</li> <li>幼稚園、保育園、学校でPRする。</li> </ul>	2  (検討中)	1  (未確立)
	1   3	カンタン手づくりおやつのおすすめ	前回のアンケート調査と比べて手作りおやつが減少し、塩分の多い既製品でおやつを補うことが増加していたため、手作りおやつを紹介をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>食改もみじ会の研修、親子料理教室を開催する。</li> <li>乳幼児健診時試食&amp;レシピ配布をする。</li> <li>広報、ホームページ、宮ヶ瀬レイクサイドFMで案内する。</li> <li>育児教室で案内する。</li> </ul>	4  (実施中)	3  (大体確立)
	1   4	家族みんなで楽しく朝ごはん!	全ての年代で、「朝ご飯を毎日食べる」が健康法の1位になっている。1期計画から、「早起き・朝食を食べよう」を推進したことから、欠食は前回調査より減少している。引き続き「朝ご飯の大切さ」をアピールするため実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮ヶ瀬レイクサイドFMで放送、月1回防災行政無線でPRする。</li> <li>8月と12月のキャンペーン月間で事業を実施する。</li> <li>広報、ホームページで、「我が家の朝ごはん」コーナーを設置する。</li> <li>親子料理教室で朝ごはんメニューを実施する。</li> </ul>	4  (実施中)	3  (大体確立)

平成 29 年度までの評価						総合評価 (推進協議会)
プロセス	アウトプット	アウトカム	担当者の 負担感	今後の 方向性	問題点・課題	
事業がうまく動いているかどうか（1.ほとんど動かない部でいくぶん動いている）	【参加型の事業】事業への参加者（1.参加者なし 2.少ない程度 3.ある程度 4.とても多い） 【提供型の事業】事業の実施頻度（1.年1回以下 2.とて少ない程度 3.実施回数が多い）	事業に対する参加者・村民の満足度はどうか 1.把握できていない 2.あまり高くない 3.まあまあ 4.とても高い	1.通常業務に支障をきたすほど負担感が高い 2.ある程度負担感が高い 3.負担感があはれ 4.あまり負担感はない	1.事業を終了すべき内容を 2.内容を変更すべき他の事業と 3.事業を統合すべき事業を 4.そのまま継続すべき	現状で障害となっている事項、計画当初と状況が変化して見直すべき事項、その他今後の継続の障害、解決すべき課題などを記述	1.事業を終了すべき 2.事業内容を 3.他の事業と 4.そのまま実施すべき
1 (動かさず)	1 (参加者なし)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	1 (終了)	「子ども・子育て支援事業計画」において、保育園の増設や子育て支援事業も充実してきているため、本計画としては終了する。	1 (終了)
1 (動かさず)	1 (年1回以下)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	1 (終了)	村の特性を踏まえた新たな体操の作成・普及の人材確保が困難であり、多くの方にすでになじみのあるラジオ体操に比べて実施効果が低い。 現在、教育委員会でラジオ体操の普及事業や、特定の地域では自主的に住民が集まりラジオ体操を行っているため、新たな健康体操づくり事業は終了する。	1 (終了)
3 (大体動く)	3 (ある程度実施)	4 (満足度高い)	4 (負担感なし)	4 (継続)	「食改もみじ会の研修、親子料理教室」「乳幼児健診時試食&レシピ配布」については実施できており、アンケート結果からも参加者からの満足度も高く継続する。「広報、ホームページへの掲載」も継続する。	4 (継続)
3 (大体動く)	3 (ある程度実施)	1 (未把握)	3 (負担感あり)	2 (変更)	「防災行政無線」は、平成 28 年度に総務課で使用基準の見直しがあり、利用できなくなったため終了する。 宮ヶ瀬レイクサイドFMは、毎月テーマをかえ、村の情報とともに発信し、また村民からも具体的な内容でよいなどのご意見もあり、今後も継続する。 8月と12月のキャンペーン月間での事業の実施については、広報・健康カレンダーへの掲載ができているため継続する。 「我が家の朝ごはんコーナー設置」については、ホームページと宮ヶ瀬レイクサイドFMで紹介したレシピを掲載する。 親子料理教室での朝ごはんメニューについては、実施主体となる食改もみじ会のキャパシティを超えるため、終了する。	2 (変更)

2) 学童・思春期

ライフステージ	事業番号	事業名	事業目的	事業概要	事業段階	平成29年度までの評価
						ストラクチャー
					1.未検討 2.計画検討中 3.事業着手中 4.事業実施中 5.事業終了検討 6.事業終了済	事業推進組織が確立できたか(1.ほとんどできていない 2.確立に向けて努力中 3.大体できた 4.強固な組織ができている)
2 学童・思春期	2   1	安全意識を高める啓発 小学生(IT・メディア・喫煙・飲酒) 中学・高校生(薬物)	前回調査と比べ、薬物・喫煙・飲酒に対する認識が低くなっており、正しい知識の獲得のために、周囲の大人たちも現状を認識し、関わっていく必要がある。	・学校活動に合わせた啓発を行う。	4 (実施中)	2 (努力中)
	2   2	運動習慣をつけよう	運動により身体を作ることが大切であるが、時間や場所の制限で学年が上がるにつれて実行が難しくなる。成長期には運動による身体づくりが大切であり、運動習慣の継続につながる企画の提供をする。	・地域の運動グループを紹介する。 ・子ども向けウォーキング事業を開催する。	2 (検討中)	1 (未確立)

平成 29 年度までの評価						総合評価(推進協議会)
プロセス	アウトプット	アウトカム	担当者の負担感	今後の方向性	問題点・課題	
事業がうまく動いているか(1.ほとんど動いていない 2.一部しか実施できていない 3.大体動くようにはなっている 4.とてもうまく動いている)	【参加型の事業】事業への村民・団体の参加者はどうか(1.参加者なし 2.少ない 3.ある程度いる 4.とても多い) 【提供型の事業】事業の実施頻度はどうか(1.年1回以下 2.とても少ない 3.ある程度実施 4.とても多い)	事業に対する参加者・村民の満足度はどうか 1.把握できていない 2.あまり高くない 3.まあまあ 4.とても高い	1.通常業務に支障をきたすほど負担感が高い 2.ある程度負担感が高い 3.負担感はあるが何とか対応できる 4.あまり負担感はない	1.事業を終了すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他の事業と統合すべき 4.そのまま継続実施すべき	現状で障害となっている事項、計画当初と状況が変化して見直すべき事項、その他今後の継続の障害、解決すべき課題などを記述	1.事業を終了すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他の事業と統合すべき 4.そのまま継続実施すべき
2 (一部しか動いてない)	2 (少ない)	1 (未把握)	3 (負担感あり)	2 (変更)	薬物乱用防止に関する啓発は継続する。思春期保健セミナーは、学校教育で外部講師に依頼しているため、児童・生徒の健康づくりに関する要望・意見等を聞きながら必要時対応していく。	2 (変更)
1 (動かず)	1 (年1回以下)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	3 (統合)	小・中学生にとってウォーキングは運動強度が低く、また健康体操も作成していないため、本事業としては終了する。ただし3-3事業に、子どもも参加対象とする。	2 (変更)

3) 青・壮年期

ライフステージ	事業番号	事業名	事業目的	事業概要	事業段階	平成 29 年度までの評価
					1.未検討 2.計画検討中 3.事業着手中 4.事業実施中 5.事業終了検討 6.事業終了済	ストラクチャー
3 青 ・ 壮 年 期	3   1	《食育》男の健康づくり	アンケート結果から、野菜摂取不足、塩分過多であることが分かった為、正しい食習慣作りを学び、考える場を提供する。	・男性が健康について関心を持つよう、食をきっかけとした教室等を検討する。	2 (検討中)	1 (未確立)
	3   2	楽しく運動不足解消	運動不足を認識しつつも、運動行動につながっていない人が多い実態がわかったため、場の提供やグループなどを紹介する。	・村内の各種運動グループの紹介をせせらぎ館・やまびこ館等で行う。 ・健康相談や特定保健指導などで対象者に合うグループを紹介する。 ・健康まつりでPR の機会をもつ。	4 (実施中)	3 (大体確立)
	3   3	ウォーキングで全国制覇!! めざせ 30 万歩!! ウォーキング等	アンケート結果から、「運動している」と回答していても内容が散歩程度の軽い運動にすぎない人もいるため、正しい運動知識の普及と習慣化を目指す。	・通年型(全国制覇!)と期間限定型(めざせ 30 万歩!!)に分ける。 ・希望する村民に全国地図カード(通年型)、1日1万歩の30日分が記入できるカード(期間限定型)を渡す。 ・達成者を発表・表彰する。 ・正しいウォーキングの仕方の講習、ウォーキングコースの活用等イベントを実施する。	4 (実施中)	3 (大体確立)
	3   4	ホームページに年代別の健康情報ページをつくる	健康情報について、年代を細分化して、各年代にインパクトのある方法で啓発する。	・ライフステージに応じて異なる健康課題にあわせた健康づくりの実践例(食育を含む)をホームページに掲載する。	2 (検討中)	1 (未確立)
	3   5	歯周病予防の促進(あなたの歯を失わないために!)	アンケート結果から歯の健康を維持する人が減っているため、8020 運動推進員を活用し普及啓発を図る。	・8020 運動推進員を中心に、様々な場を活用し歯の健康を推進する。 ・健康まつり、その他地域活動の場等での啓発とデモンストラクションを実施する。	4 (実施中)	3 (大体確立)

平成 29 年度までの評価						総合評価 (推進協議会)
プロセス	アウトプット	アウトカム	担当者の負担感	今後の方向性	問題点・課題	
事業がうまく動いているか (1.ほとんど動いていない 2.一部しか実施できていない 3.大体動くようにはなっている 4.とてもうまく動いている)	【参加型の事業】事業への村民・団体の参加者はどうか (1.参加者なし 2.少ない 3.ある程度いる 4.とても多い) 【提供型の事業】事業の実施頻度はどうか (1.年1回以下 2.とても少ない 3.ある程度実施 4.とても多い)	事業に対する参加者・村民の満足度はどうか 1.把握できていない 2.あまり高くない 3.まあまあ 4.とても高い	1.通常業務に支障をきたすほど負担感が高い 2.ある程度負担感が高い 3.負担感はあるが対応できる 4.あまり負担感はない	1.事業を終了すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他のとすべき 4.その継続すべき	現状で障害となっている事項、計画当初と状況が変化して見直すべき事項、その他今後の継続の障害、解決すべき課題などを記述	1.事業を終了すべき 2.事業内容をすべき 3.他のとすべき 4.その継続すべき
1 (動かず)	1 (参加者なし)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	2 (変更)	検討会などは行えなかったが、平成 28、29 年度に食育アドバイザーとして男性各 2 名 (計 4 名) 受講・終了している。このアドバイザーに相談して、事業内容について検討する。	2 (変更)
3 (大体動く)	3 (ある程度実施)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	4 (継続)	各種事業を通じて情報提供・紹介ができており、引き続き情報提供できる場を作っていく。	4 (継続)
3 (大体動く)	3 (ある程度実施)	4 (満足度高い)	3 (負担感あり)	2 (変更)	村民ウォーキングを開催し、健康づくりのきっかけづくりを促してきたが、平成 28 年度より、住民主体の NPO 団体と協働したウォーキング事業も実施している。歩数の確認等は紙媒体への記録ではなく、電子機器による管理に移行している。また、2-2 対象者も参加可能にするなど実施方法や対象者の一部を変更する。	4 (継続)
1 (動かず)	1 (年 1 回以下)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	4 (継続)	広報やホームページに健康情報ページを追加し、肥満・ストレス等の問題を保健事業に関わりの少ない若い男性に向けた情報発信を今後取り組む。	4 (継続)
3 (大体動く)	4 (とても多い)	4 (満足度高い)	3 (負担感あり)	4 (継続)	新しい推進員の募集には苦慮するが、村事業及び地域での活躍の場が広がっているため、事業は継続する。	4 (継続)

#### 4) 高齢期

ライフステージ	事業番号	事業名	事業目的	事業概要	事業段階	平成 29 年度までの評価
						ストラクチャー
					1.未検討 2.計画検討中 3.事業着手中 4.事業実施中 5.事業終了検討 6.事業終了済	事業推進組織が確立できたか(1)ほとんどできていない2.確立に向けて努力中3.大体できた4.強固な組織ができている)
4 高 齢 期	4   1	幸齢社会への入門講座（高齢者入門の日の設定（第2の成人式））	高齢期を健康で生き生きと生活するために、健康の維持・増進の方法や高齢期を有意義に過ごすための社会資源の情報を知り、高齢期の生き方を考える一助とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の実行委員会を設置し、講演会などを計画、立案、実施する。</li> <li>広報や回覧により、周知する。</li> </ul>	4 (実施中)	4 (強固に確立)
	4   2	元気高齢者健康リーダーの育成と高齢者の自主的健康増進活動の普及	健康づくりの実践の継続のために、リーダー的存在になってくれる対象者をみつけて育成し、担ってもらおう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダー養成講座開催する。</li> <li>実技、知識の理解を深める。</li> <li>リーダーを中心に地域で健康活動を実施する。</li> </ul>	2 (検討中)	1 (未確立)
	4   3	余裕な時間の地域貢献	時間がある反面、「健康事業」に関心が低い面がみられたため、事業参加を含めた地域貢献の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまなボランティア協力の募集や利用希望受付を実施する。</li> <li>村及び社協の広報や回覧により周知する。</li> </ul>	2 (検討中)	1 (未確立)
	4   4	高齢者が集まれる場での高齢者の健康づくりの情報発信	正しい健康情報を知ってもらうため、仲間づくりを基盤とした、集まりに参加しない人や健康への関心の低い人も視野に入れて様々な角度から情報発信をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会館等を利用し、集まれる楽しい場所を作る。</li> <li>地区別に、元気高齢者健康リーダーが入り、情報交換や健康体操を行う。</li> <li>保健師等も入り、健康相談や健康講話を行う。</li> </ul>	4 (実施中)	3 (大体確立)

平成 29 年度までの評価						総合評 価(推進 協議会)
プロセス	アウトプット	アウトカム	担当者の 負担感	今後の 方向性	問題点・課題	
事業がうまく動いているか(1.ほとんど動いていない 2.一部しか実施できていない 3.大体動くようにはなっている 4.とてもうまく動いている)	【参加型の事業】 事業への村民・団体の参加者はどうか(1.参加者なし 2.少ない 3.ある程度いる 4.とても多い) 【提供型の事業】 事業の実施頻度はどうか(1.年1回以下 2.とても少ない 3.ある程度実施 4.とても多い)	事業に対する参加者・村民の満足度はどうか 1.把握できていない 2.あまり高くない 3.まあまあ 4.とても高い	1.通常業務に支障をきたすほど負担感が高い 2.ある程度負担感が高い 3.負担感はあるが何とか対応できる 4.あまり負担感はない	1.事業を終了すべき 2.内容を変更すべき 3.他のと事業統合すべき 4.そのまま継続すべき	現状で障害となっている事項、計画当初と状況が変化している見直しすべき事項、その他今後の継続の障害、解決すべき課題などを記述	1.事業を終了すべき 2.内容を変更すべき 3.他のと事業統合すべき 4.そのまま継続すべき
4 (うまく動く)	4 (とても多い)	4 (満足度高い)	3 (負担感あり)	4 (継続)	実行委員会は、各委員同士が積極的に意見交換し、入門講座を作り上げていくことができている。住民の間でも、幸齢社会への入門講座の認知度が高く、事業の形ができているため、継続したいと考える。	4 (継続)
1 (動かず)	1 (参加者なし)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	1 (終了)	地域のサロン活動では、それぞれの参加者ができる役割を持ち寄り、リーダーとなる人がいなくても運営できている。リーダーを育成していく必要がないため、事業は終了とする。	1 (終了)
1 (動かず)	1 (参加者なし)	1 (未把握)	4 (負担感なし)	1 (終了)	既に社会福祉協議会が中心となり、ボランティア活動の窓口となっているため、重複した事業を行う必要性が低いことから終了する。	1 (終了)
3 (大体動く)	3 (ある程度実施)	1 (未把握)	3 (負担感あり)	2 (変更)	元気高齢者健康リーダーは養成できていないが、住民の自主活動としてのサロンが3地区で開催できている。 一部地域ではまだ支援が必要なため、内容を変更する。	2 (変更)

## 4 中間見直し②「事業の方向性の決定」(第2段階)

中間見直し①の結果に基づき、平成31年度以降の実施に向けた方向性の決定(中間見直し②)を作成しました。評価については、コスト面、事業の実施容易性、利害関係者の調整容易性、ならびに健康増進計画の目的である健康増進効果と健康増進の最終目的である医療費低減効果の5つの軸としました。これらを各1～5の5段階で評価し、評価平均点を100点満点で換算して示しました。また、今後推進する上での問題点・課題を挙げました。

この一覧表に基づき、協議会において、今後の方向性として「1. 事業を廃止すべき」、「2. 事業内容を変更すべき」、「3. 他の事業と統合すべき」、「4. 原案通り実施すべき」の4段階の評価を行いました。なお、協議の結果、「1. 事業を廃止すべき」と判定されたのは1事業、「2. 事業内容を変更すべき」と判定されたのは6事業、「3. 他の事業と統合すべき」と判定されたのは、2事業、「4. 原案通り実施すべき」と判定されたのは、2事業でした。

### 1) 乳幼児期

乳幼児期では、2事業(1-3 カンタン手づくりおやつのおすすめ、1-4 家族みんな楽しく朝ごはん!)の事業内容を変更することになりました。1-4については、朝ごはんにのみ焦点をあてるのではなく、全年齢層に向けた食習慣づくりに焦点をあてた内容に変更するため、名称を「家族みんな楽しく朝ごはん!」から「家族みんな楽しく食習慣づくり」に変更しました。

### 2) 学童・思春期

学童・思春期では、1事業(2-1 安全意識を高める啓発)が、中間見直し①では「変更」と判定されましたが、中間見直し②において、課題を挙げ議論を重ねる中で、既に学校でプログラムを組んでおり、本計画では廃止すべきと判定されました。

また、2-2(運動習慣をつけてこう)については、当初学校での取り組みを支援する形をとりたいと協議会に答申しましたが、協議の結果、ラジオ体操の普及や家族参加型の運動イベントを企画するなどの内容を取り入れる方向性が示され変更となりました。

### 3) 青・壮年期

青・壮年期では、中間見直し①において、1事業が変更、4事業が継続となりましたが、中間見直し②において事業内容の方向性を再度議論し、見直した結果、継続事業は1事業（3-5 歯周病予防の促進（あなたの歯を失わないために！））、変更事業は2事業（3-1 男の健康づくり、3-3 ウォーキングで全国制覇！！めざせ30万歩！！ウォーキング等）、統合事業は2事業（3-2 楽しく運動不足解消、3-4 ホームページに年代別の健康情報ページをつくる）となりました。

統合事業については、健康情報のメール配信サービスや、健康情報のホームページの充実等も含めた内容にするため、名称を「健康情報発信！！」となりました。

### 4) 高齢期

高齢期では、1事業（4-1 幸齢社会への入門講座（高齢者入門の日の設定（第2の成人式））が継続、4-4 高齢者が集まれる場での高齢者の健康づくりの情報発信）は一部内容を変更することになりました。



1) 乳幼児期

ライフ ステージ	事業 番号	事業名	事業概要	平成 31 年度以降の実施に向けての 評価	
				コスト面	事業の実施容易性
1. 乳幼児期 2. 学童・思春期 3. 青・壮年期 4. 高齢期				1. 巨額な費用がかかり困難 2. 予算要求すれば通りそう 3. 現予算の調整で可能 4. 殆どコストがかからない 5. 全くコストがかからない	1. 新たな体制・人員でも困難 2. 新たな体制・人員配置が必要 3. 担当者を入れ替えれば実施可能 4. 多少の応援があれば行えそう 5. 現状の体制・人員で容易に実施可能
1. 乳幼児期	1-3	カンタン手づくりおやつのおすすめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診時に試食とレシピの配布（協力：食改もみじ会）をする。</li> <li>・だっこらっこクラブと食改もみじ会でおやつ作りの調理実習を実施する。</li> <li>・親子食育講座を実施する。</li> <li>・食改もみじ会への研修を企画する。</li> <li>・広報、ホームページ、育児教室で案内する。</li> </ul>	2 試食・調理実習材料代は継続事業として現予算で対応可能。講師は村内の方で依頼する。	4 親子食育講座においては、現在は地域おこし協力隊の協力が得られている。今後は食改もみじ会や住民の方等で講師を探していく。
	1-4	家族みんなで楽しく朝ごはん！ →事業名変更 家族みんなで楽しく食習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮ヶ瀬レイクサイドFMでの放送と放送内容をホームページ上にも掲載する。</li> <li>・広報での啓発をする。</li> <li>・8月と12月のキャンペーン月間で、事業を実施する。</li> </ul>	5 広報、ホームページ、ラジオを活用するため、費用は必要としない。	4 放送内容の検討やホームページ作成は担当課で実施した上で、啓発手段においては各担当機関と調整が必要である。

平成 31 年度以降の方向性に向けての評価					総合評価（推進委員会）
利害関係者の調整容易性	健康増進効果	医療費低減効果	評価平均点	問題点・課題	
1.他機関・団体に権限があり調整困難 2.他機関・団体との調整が必要 3.役場内・推進協議会内の調整で済む 4.保健福祉課内の調整で済む 5.利害調整が不要	1.効果のほどは分からない 2.あまり効果は見込めない 3.参加した人など、一定程度の数への効果が見込まれる 4.対象者集団の殆どへの効果が見込まれる 5.村民全体への効果が見込まれる	1.医療費低減に寄与するかわからない 2.長い目で見れば効果がありそう 3.長い目で見れば医療費低減効果が確実に見込まれる 4.短期に一定程度の医療費低減効果が見込まれる 5.短期に巨額な医療費低減効果が見込まれる	(100 点満点換算)	事業実施に障害となる問題点、解決すべき課題を記述	1.事業を廃止すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他の事業と統合すべき 4.原案通り実施すべき
3	3	3	50	親子食育講座や食改もみじ会研修における講師について、今後は村民の方などで新たな人材を確保していく。手作りおやつ試食会の実施日について、幼児歯科健診のある月（偶数月）の方がより多くの乳幼児が受診するが、その場ですぐに食べられないなど課題がある。	2 (事業内容を変更すべき)
食改もみじ会や、講師との調整が必要である。	参加者からの評価はおおむね良好で、乳幼児の健康増進に寄与できている。	親子で、食の大切さを学んだり、野菜摂取などの健康行動につながる機会となる。また、生活習慣病予防にもなるため、長い目で見て医療費低減効果が見込まれる。			
2	4	3	65	毎月の内容の充実を検討し、平成 30 年度より放送した内容をホームページに掲載し、啓発を図っていく。 8・12月のキャンペーン月間の取り組みは、今まで実施しての反応は評価しなかったが、今後は、展示なども検討し、来所者の反応を評価していきたい。	2 (事業内容を変更すべき)
ホームページの充実を図るため、総務課やひかり根っ人きよかわとの協力体制、宮ヶ瀬レイクサイドFMとの連携が必要である。	ラジオを聴いた方への効果に加え、ホームページに掲載をすることや、より多くの人に普及啓発ができ、朝食を通じた健康の意識づけとなる。また、家族のコミュニケーションの機会につながる。	食事のリズムや生活習慣が整うことで、生活習慣病予防になり、長い目で見れば医療費低減効果が見込まれる。			

## 2) 学童・思春期

ライフ ステージ	事業 番号	事業名	事業概要	平成 31 年度以降の実施に向けての評価	
				コスト面	事業の実施容易性
1. 乳幼児期 2. 学童・思春期 3. 青・壮年期 4. 高齢期				1. 巨額な費用がかかり困難 2. 予算要求すれば通りそう 3. 現予算の調整で可能 4. 殆どコストがかからない 5. 全くコストがかからない	1. 新たな体制・人員でも困難 2. 新たな体制・人員配置が必要 3. 担当者を入れ替えば実施可能 4. 多少の応援があれば行えそう 5. 現状の体制・人員で容易に実施可能
2. 学童・思春期	2-1	安全意識を高める啓発 小学生（IT・メディア・喫煙・飲酒） 中学・高校生（薬物）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に薬物のパンフレットを配架する。（せせらぎ館など）</li> <li>・親向けのパンフレットを作成する。</li> <li>・学校の取り組みをきよかわ通信（保健だより）に掲載する。</li> </ul>	3	2
	2-2	運動習慣をつけていこう	<p>各小・中学校で以下の取り組みを行っていく。</p> <p>&lt;緑小学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①朝マラソンの実施</li> <li>②縄跳び月間の設定</li> </ul> <p>&lt;緑中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会、生徒会主導による活動の球技大会の開催</li> </ul> <p>&lt;宮ヶ瀬小学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①朝の5分間走の実施</li> <li>②やまびこマラソン大会の出場</li> </ul> <p>&lt;宮ヶ瀬中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮スポ Thursday の活性化</li> </ul> <p>&lt;教育委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操教室の開催</li> </ul> <p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きよかわ通信の保健だよりで学童・思春期の運動の取り組み紹介をする。</li> </ul>	5	4

平成 31 年度以降の方向性に向けての評価					総合評価（推進委員会）
利害関係者の調整容易性	健康増進効果	医療費低減効果	評価平均点	問題点・課題	
1.他機関・団体に権限があり調整困難 2.他機関・団体との調整が必要 3.役場内・推進協議会内の調整で済む 4.保健福祉課内の調整で済む 5.利害調整が不要	1.効果のほどは分からない 2.あまり効果は見込めない 3.参加した人など、一定程度の数への効果が見込まれる 4.対象者集団の殆どへの効果が見込まれる 5.村民全体への効果が見込まれる	1.医療費低減に寄与するかわからない 2.長い目で見れば効果がありそう 3.長い目で見れば医療費低減効果が確実に見込まれる 4.短期に一定程度の医療費低減効果が見込まれる 5.短期に巨額な医療費低減効果が見込まれる	(100 点満点換算)	事業実施に障害となる問題点、解決すべき課題を記述	1.事業を廃止すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他の事業と統合すべき 4.原案通り実施すべき
2	3	3	40	現時点での学校での取り組みが見えていない状況にあるので、確認してから取り組んでいく。	1 (事業を廃止すべき)
教育委員会、小・中学校、PTA、青少年指導員連絡協議会との連携が必要である。	啓発活動等により、将来の安全意識と健康について考える機会となり、健康増進に寄与する。	薬物等の正しい知識を獲得することにより、健康被害を抑えられ、医療費低減効果はある。 薬物は健康被害のリスク要因の一つであり、長い目で見れば効果が見込まれる。			
2	4	3	65	中間見直しに伴い今後は、学校の取り組みを応援する形をとりたい。また、地域に学校の取り組みを周知する。	2 (事業内容を変更すべき)
他課関係団体へのアプローチと事業タイアップの調整が必要である。	主に学校での取り組みのため、全児童・生徒への健康効果につながる。	児童・生徒の運動習慣をつけることで、生活習慣病の早期予防となり、医療費低減効果が見込まれる。			

3) 青・壮年期 ①

ライフ ステー ジ	事業 番号	事業名	事業概要	平成 31 年度以降の実施に向けての評価	
				コスト面	事業の実施容易性
1. 乳幼期 2. 学童・ 思春期 3. 青・壮 年期 4. 高齢期				1. 巨額な費用が かかり困難 2. 予算要求すれ ば通りそう 3. 現予算の調整 で可能 4. 殆どコストが かからない 5. 全くコストが かからない	1. 新たな体制・人員でも 困難 2. 新たな体制・人員配置 が必要 3. 担当者を入れ替えれ ば実施可能 4. 多少の応援があれば 行えそう 5. 現状の体制・人員で容 易に実施可能
3. 青・壮年 期	3-1	男の健康づ くり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性が健康づくりに関心を持てるよう、男性の食育アドバイザーと健康課題等について、意見交換をする。</li> <li>・男の料理クラブや男性の多い団体等への出前講座を実施する。</li> <li>・村の保健だよりの内容をクリエイトSDや道の駅きよかわ、農協、煤ヶ谷・宮ヶ瀬診療所等、村の住民がよく利用する施設や病院に掲示する。</li> </ul>	5	4
	3-2	楽しく運動 不足解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の各種運動グループの紹介(生涯学習ハンドブックを用いる)をせせらぎ館や、やまびこ館で行う。</li> <li>・健康相談や特定保健指導などの対象者にグループを紹介する</li> <li>・健康まつりでPR の機会をもつ。</li> </ul>	4	5
				<p>現状把握と課題整理から着手するため、今のところ費用は発生しない。</p> <p>各種紹介パンフレットを作成しているため、特に新たな費用等は発生しない。</p>	<p>男性食育アドバイザーとの意見交換、保健だよりの掲載を依頼し了承してもらえば可能である。</p> <p>担当者のみで実施可能なため、新たな人員を必要としない。</p>
3-3	ウォーキングで全国制覇！！めざせ30万歩！！ウォーキング等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいウォーキングの仕方の講習を実施する。</li> <li>・ウォーキングコースの活用等のイベントを実施する。</li> <li>・カルテ等の活用による、歩数データの管理をする。</li> </ul>	2	5	
				<p>参加者層拡大のための講師料増額や、景品等の費用がかかる。</p>	<p>マイME-BYOカルテは、登録をするだけなので負担は生じない。</p>

平成 31 年度以降の方向性に向けての評価					総合評価（推進委員会）
利害関係者の調整容易性	健康増進効果	医療費低減効果	評価平均点	問題点・課題	
1.他機関・団体に権限があり調整困難 2.他機関・団体との調整が必要 3.役場内・推進協議会内の調整で済む 4.保健福祉課内の調整で済む 5.利害調整が不要	1.効果のほどは分からない 2.あまり効果は見込めない 3.参加した人など、一定程度の数への効果が見込まれる 4.対象者集団の殆どへの効果が見込まれる 5.村民全体への効果が見込まれる	1.医療費低減に寄与するかわからない 2.長い目で見れば効果がありそう 3.長い目で見れば医療費低減効果が確実に見込まれる 4.短期に一定程度の医療費低減効果が見込まれる 5.短期に巨額な医療費低減効果が見込まれる	(100 点満点換算)	事業実施に障害となる問題点、解決すべき課題を記述	1.事業を廃止すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他の事業と統合すべき 4.原案通り実施すべき
2	3	3	50	男性の健康課題を把握し、男の料理クラブや生きがい事業団等男性が多い団体へのアプローチ方法が課題である。	2 (事業内容を変更すべき)
食育アドバイザーを中心に協力依頼する必要がある。	男性が参加することにより、健康への意識づけや課題の共有ができる。	男性が自身の健康課題を知り、生活習慣を見直すことで、疾病予防や健康増進につながり、医療費低減効果が見込まれる。			
5	4	3	80	各種事業を通じて対象者に合った事業を提供・紹介していく。	3 (他の事業と統合すべき3-4と統合)
メンバーを増やしたい各種運動グループに紹介するため、利害調整が不要である。	対象者に情報が行き渡ることで、運動を始めるきっかけとなる。	運動不足が解消することで、体力の維持・向上がはかられ、転倒・骨折などのリスクが減ることで疾病予防につながる。			
2	3	3	50	30～40 歳代の若い世代への取り組みを啓発することや、運動を習慣化するためのデータ管理媒体等の使用方法の周知と活用を図る。スロージョグを取り入れたウォーキング事業等を検討し、単発で終わらないような工夫が必要である。	2 (事業内容を変更すべき)
村内資源(会場・団体)の活用のための調整が必要である。	ウォーキング事業に参加した人への健康増進効果は見込まれる。	運動習慣の確立など、これまで実際に効果が出ている人もおり、多くの参加者が運動を継続できれば、生活習慣病の予防や改善につながり、医療費低減効果が見込まれる。			

3) 青・壮年期 ②

ライフ ステー ジ	事業 番号	事業名	事業概要	平成 31 年度以降の実施に向けての評価	
				コスト面	事業の実施容易性
1. 乳幼期 2. 学童・ 思春期 3. 青・壮 年期 4. 高齢期				1. 巨額な費用が かかり困難 2. 予算要求すれ ば通りそう 3. 現予算の調整 で可能 4. 殆どコストが かからない 5. 全くコストが かからない	1. 新たな体制・人員でも 困難 2. 新たな体制・人員配置 が必要 3. 担当者を入れ替えれ ば実施可能 4. 多少の応援があれば 行えそう 5. 現状の体制・人員で容 易に実施可能
3. 青・壮年 期	3-4	ホーム ページに 年代別の 健康情報 ページを つくる	・ライフステージに応じて異なる健康課題にあわせた健康づくりの実践例（食育を含む）をホームページに掲載する。	5	2
	3-5	歯周病 予防の促 進（あなた の歯を失わ ないため に！）	・8020 運動推進員を中心に、様々な場を活用し、歯の健康を推進する。 ・健康まつり、その他地域活動の場等での啓発とデモンストレーションを実施する。	5	2

平成 31 年度以降の方向性に向けての評価					総合評価（推進委員会）
利害関係者の調整容易性	健康増進効果	医療費低減効果	評価平均点	問題点・課題	
1.他機関・団体に権限があり調整困難 2.他機関・団体との調整が必要 3.役場内・推進協議会内の調整で済む 4.保健福祉課内の調整で済む 5.利害調整が不要	1.効果のほどは分からない 2.あまり効果は見込めない 3.参加した人など、一定程度の数への効果が見込まれる 4.対象者集団の殆どへの効果が見込まれる 5.村民全体への効果が見込まれる	1.医療費低減に寄与するかわからない 2.長い目で見れば効果がありそう 3.長い目で見れば医療費低減効果が確実に見込まれる 4.短期に一定程度の医療費低減効果が見込まれる 5.短期に巨額な医療費低減効果が見込まれる	(100 点満点換算)	事業実施に障害となる問題点、解決すべき課題を記述	1.事業を廃止すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他の事業と統合すべき 4.原案通り実施すべき
3	4	3	60	保健事業に関わりの少ない若い男性向けの情報から、順次取り組む。さらに充実を図るには、情報発信に関するノウハウを持った職員の参加や関係部署の協力が必要である。	3 (他の事業と統合すべき 3-2に統合)
3	3	3	55	新しい 8020 運動推進員の募集には苦慮するが、村事業及び地域での活躍の場が広がっており、事業は継続する。	4 (原案どおり実施すべき)
既存事業であるため、事業自体は実施可能だが、担い手確保のために調整が必要である。	8020 運動推進員の活動により、参加者自らの歯に対する関心が高まり、口腔機能向上の効果が期待される。	8020 運動推進委員の活動の場が広がることで、口腔機能の改善が見込まれ、医療費低減効果が見込まれる。			

#### 4) 高齢期

ライフ ステージ	事業 番号	事業名	事業概要	平成 31 年度以降の実施に向けての評価	
				コスト面	事業の実施容易性
1. 乳幼期 2. 学童・思 春期 3. 青・壮 年期 4. 高齢期				1. 巨額な費用が かかり困難 2. 予算要求すれ ば通りそう 3. 現予算の調整 で可能 4. 殆どコストが かからない 5. 全くコストが かからない	1. 新たな体制・人員でも 困難 2. 新たな体制・人員配置 が必要 3. 担当者を入れ替えれ ば実施可能 4. 多少の応援があれば 行えそう 5. 現状の体制・人員で容 易に実施可能
4. 高齢期	4- 1	幸齢社会への入門講座 (高齢者入門の日の設定(第2の成人式))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員が中心になり、実行委員形式で高齢期入門健康講座を開催する。</li> </ul>	3  講師代等に 予算が必要と なるが、前年度 同様の事業で あれば予算範 囲内で実施が できる。	4  講座開催時に担当 職員や食改もみじ会 等による人員が必要 である。
	4- 4	高齢者が集 まれる場 での高齢者の 健康づくり の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会館等を利用し、集まれる楽しい場所を作る。</li> <li>・地区別に、情報交換や健康体操を行う。</li> <li>・保健師等も入り、健康相談や健康講話を行う。</li> </ul>	5  費用は発生 していないた め、予算確保は 不要である。	5  地域包括支援セン ター職員と保健師で 実施可能なため、新た な人員を必要としな い。

平成 31 年度以降の方向性に向けての評価					総合評価（推進委員会）
利害関係者の調整容易性	健康増進効果	医療費低減効果	評価平均点	問題点・課題	
1.他機関・団体に権限があり調整困難 2.他機関・団体との調整が必要 3.役場内・推進協議会内の調整で済む 4.保健福祉課内の調整で済む 5.利害調整が不要	1.効果のほどは分からない 2.あまり効果は見込めない 3.参加した人など、一定程度の数への効果が見込まれる 4.対象者集団の殆どへの効果が見込まれる 5.村民全体への効果が見込まれる	1.医療費低減に寄与するかわからない 2.長い目で見れば効果がありそう 3.長い目で見れば医療費低減効果が確実に見込まれる 4.短期に一定程度の医療費低減効果が見込まれる 5.短期に巨額な医療費低減効果が見込まれる	(100点満点換算)	事業実施に障害となる問題点、解決すべき課題を記述	1.事業を廃止すべき 2.事業内容を変更すべき 3.他の事業と統合すべき 4.原案通り実施すべき
2	3	2	45	参加対象者は定年退職早期の年代だが、実際は、後期高齢者の参加が多い。 また、実行委員会の開催回数が多い。	4 (原案どおり実施すべき)
緑ことぶき連合会等との事業協力や啓発活動のための調整が必要である。	参加者の評価はおおむね良好であり、事業参加者が地域での健康づくり活動、生きがい作りに取り組む人の増加が見込まれ、健康増進効果が得られる。	健康づくりや生きがい作りなどの役立つ情報を入手する村民が増えることにより、医療費低減の効果が長い目で見れば期待できる。			
5	3	3	80	宮ヶ瀬地区は高齢化も進んでおり、担い手はすぐには見つからないが、正しい知識の普及のため、包括支援センター職員、保健師等が支援を継続して行くことが必要である。	2 (事業内容を変更すべき)
既存事業の活用であるため、特に調整を要しない。	サロンや健康講話等の充実を図ることで、健康に関する情報を入手する村民等が増え、健康意識が高まることが期待される。	健康づくりや疾病予防・改善などの実践に役立つ情報を入手する村民が増えることにより、医療費低減の効果につながるが見込まれる。			

## 第2章 見直し後の計画

### 1 既存計画の整理

清川村における健康づくり、食育に関連する事業は、乳幼児期対象で 15 事業、学童期・思春期対象で 15 事業、青・壮年期対象で 41 事業、高齢期対象で 42 事業です。既存事業と新規事業、また、ライフステージ間の効率的かつ効果的な連携を図り、より効果的な事業を推進することが望まれます。

健康づくり・食育に関連する既存事業の状況(1)

No.	事業名	ライフステージ				事業内容	担当部署
		乳幼児期	学童期・思春期	青・壮年期	高齢期		
1	3～4 か月児健康診査	○				診察、身体計測、育児相談、栄養相談	保健福祉課
2	8～10 か月児健康診査	○				診察、身体計測、育児相談、栄養相談	保健福祉課
3	1 歳 6 か月児健康診査	○				診察、身体計測、育児相談、栄養相談 歯科健診・歯科指導	保健福祉課
4	3 歳 6 か月児健康診査	○				診察、身体計測、育児相談、栄養相談 歯科健診・歯科指導、視力・尿検査	保健福祉課
5	2 歳児歯科健康診査	○				歯科健診、歯科指導	保健福祉課
6	定期外健康診査	○				診察、身体計測、育児相談、栄養相談 歯科健診・歯科指導	保健福祉課
7	乳児教室	○				身体計測・ベビーマッサージ・保護者同士の交流	保健福祉課
8	育児教室	○				親子遊び、テーマに応じた育児講座	保健福祉課
9	妊婦健康診査			○		妊婦健診費用の補助	保健福祉課
10	マタニティ教室			○		妊娠中の健康管理、健康体操、栄養指導、 歯科指導	保健福祉課
11	新生児・乳児・産婦訪問	○		○		身体計測、育児相談・指導、産婦の心身の相談	保健福祉課
12	ブックスタート事業	○		○		民生委員児童委員による絵本の読み聞かせ、 絵本の配布	保健福祉課
13	のびのび子育てサロン	○		○		親子遊び、保護者の交流、育児相談	保健福祉課
14	思春期保健セミナー (赤ちゃんのふれあい体験教室)		○			赤ちゃんとのふれあい体験、保護者との交流、 妊婦の方との交流	保健福祉課
15	定期予防接種	○	○			定期の予防接種	保健福祉課
16	予防接種補助事業(小児インフルエンザ・風疹・高齢者肺炎球菌等)	○	○	○	○	任意接種の予防接種補助	保健福祉課
17	健康診査			○	○	特定健康診査に準じた健診 20 歳～39 歳(集団健診のみ)、75 歳以上(集団・個別)	保健福祉課
18	胃がん検診			○ 40 歳以上	○	集団検診(胃リスク検診は個別検診)	保健福祉課

健康づくり・食育に関連する既存事業の状況(2)

No.	事業名	ライフステージ				事業内容	担当部署
		乳幼児期	思春期	青年期・壮年期	高齢期		
19	肺がん検診			○ 40歳以上	○	集団検診	保健福祉課
20	大腸がん検診			○ 40歳以上	○	集団検診	保健福祉課
21	乳がん検診			○	○	集団・個別検診	保健福祉課
22	子宮がん検診			○	○	集団・個別検診	保健福祉課
23	前立腺がん検診			○ 50歳以上の男性	○	集団健診(血液検査)	保健福祉課
24	肝炎ウイルス検診			○ 40歳以上 70歳未満		集団健診同日(血液検査(HCV抗体抗原、HBs抗原)※必要者にはHCV核酸増幅検査)	保健福祉課
25	特定健康診査			○ 40歳以上	○	集団・施設健診(国保加入者対象(40歳～74歳))	税務住民課
26	特定保健指導			○ 40歳以上	○	集団教育・個別指導	税務住民課(保健指導は保健福祉課で実施)
27	骨密度検査			○ 20歳以上の女性	○ 女性	集団健診同日実施	保健福祉課
28	健康・栄養相談			○	○	保健師・管理栄養士による個別相談	保健福祉課
29	健康・運動相談			○	○	保健師・健康運動指導士による個別相談	保健福祉課
30	ヘルスアップ健康講座			○	○	生活習慣病予防・健康づくりのための教室(村民ウォーキング)	保健福祉課
31	訪問指導			○	○	保健師による個別相談	保健福祉課
32	きよかわ食育アドバイザー育成講座			○	○	食生活改善、公衆衛生等に関する意識と実践のための技術についての講義、実習	保健福祉課
33	きよかわ食育アドバイザー推進員養成講座			○	○	食生活改善、公衆衛生等に関する意識と実践のための技術についての講義、実習	保健福祉課
34	出前健康講座			○	○	団体等の依頼に希望に合わせてミニ健康講座・健康相談の実施	保健福祉課
35	生活習慣病予防講座			○	○	医師・管理栄養士・健康運動指導士等による健康講座	保健福祉課
36	健康まつり			○	○	男性の骨密度測定、体組成測定、脳年齢測定、禁煙サポート、心の相談、健康食の試食等	保健福祉課
37	未病センター		○	○	○	自らの健康や体力の状態を把握(体力・体組成・脳年齢等の測定)	保健福祉課
38	メンタルヘルス相談		○	○	○	精神科医、保健師との個別相談	保健福祉課
39	こころの相談室		○	○	○	臨床心理士・保健師との個別相談	保健福祉課

## 健康づくり・食育に関連する既存事業の状況(3)

No.	事業名	ライフステージ				事業内容	担当部署
		乳幼児 期	思春期 期	青年期 期	高齢期 期		
40	こころの健康講座		○	○	○	精神科医など専門家による講演を年1回開催	保健福祉課
41	転倒予防教室 (にこにこあしあし体操教室)				○	65歳以上の高齢者を対象に転倒・骨折等により要介護状態となることを予防するための実技指導、体力測定の実施・評価(月3~4回)	保健福祉課 (介護保険係)
42	在宅訪問機能訓練				○	65歳以上の通所が困難な高齢者を対象に訪問による生活機能低下を予防するため、リハビリ訓練を実施(年6回)	保健福祉課 (介護保険係)
43	認知機能向上教室 (脳活性化教室)				○	65歳以上の高齢者を対象に認知機能低下を予防するため実技指導・講話、体力測定の実施・評価(月2回)	保健福祉課 (介護保険係)
44	高齢者外出支援事業				○	高齢者バス割引券購入費助成事業(7,000円)	保健福祉課 (福祉係)
45	ふれあいセンター利用助成事業				○	ふれあいセンターの利用助成(65歳以上、入館料100円で3時間まで(平日のみ))	産業観光課
46	国保人間ドック事業			○	○	人間ドックを受診された方に、費用の一部を助成	税務住民課
47	男女共同参画推進事業 事業(きよかわ学級)		○	○	○	趣味の講座や健康講座などを開催	教育委員会
48	体育祭		○	○	○	煤ヶ谷地区・宮ヶ瀬地区で開催	教育委員会
49	生涯スポーツ振興事業(ふれあい教室)		○	○	○	ふれあいスポーツ教室を開催(ラジオ体操教室等)	教育委員会
50	夏季プール一般開放事業	○	○	○	○	緑小学校プール	教育委員会
51	清川やまびこマラソン大会		○	○	○	ハーフの部・5kmの部・3kmの部・1.5kmの部(親子)	教育委員会
52	ボランティア育成・支援事業		○	○	○	福祉活動、地域活動への参加	社会福祉協議会
53	福祉教育事業		○			小中学校の授業とタイアップして福祉体験	社会福祉協議会
54	給食サービス事業				○	食生活改善推進団体もみじ会・配食ボランティアの協力により、毎週水・金曜日にお弁当を配布	社会福祉協議会
55	ふれあい昼食会				○	月1回、食生活改善推進団体もみじ会の協力による独居・高齢者世帯等の昼食会の開催	社会福祉協議会
56	小地域福祉活動事業				○	高齢者等の居場所づくり	社会福祉協議会
57	男の料理クラブ			○	○	男性に料理作りを指導	食生活改善推進団体 もみじ会・水無の会
58	親と子の料理教室		○	○		小学生の料理教室	食生活改善推進団体 もみじ会
59	生活習慣病予防のための料理教室			○	○	住民対象の料理教室	食生活改善推進団体 もみじ会
60	だっころっこクラブ	○		○		親と子の交流。保護者同士の交流(月1回程度)	だっころっこクラブ
61	グラウンドゴルフ大会				○	グラウンドゴルフの競技	緑ことぶき連合会
	総事業数	15	15	41	42		

## 2 見直し後の計画の概要

第1章で述べた平成29年度までの実施事業の評価と施策の整理を行った結果、平成31年度からは、ライフステージ別に乳幼児期では2事業、学童・思春期では1事業、青・壮年期では4事業、高齢期では2事業の計9事業に見直されました。

なお、事業によっては対象ライフステージのみならず、他の年代も活用可能と考えられるため、同様に示しました。

第2期清川村健康増進計画・食育推進計画中間見直し後の事業内容

ライフステージ	事業番号	事業名	ライフステージ			
			乳幼児期	学童・思春期	青・壮年期	高齢期
1.乳幼児期	1-1	カンタン手作りおやつのおすすめ	○		○	
	1-2	家族みんなで楽しい食習慣作り！	○	○	○	○
2.学童・思春期	2-1	運動習慣をつけていこう	○	○	○	○
3.青・壮年期	3-1	男の健康づくり			○	○
	3-2	健康情報発信！！			○	○
	3-3	ウォーキングで全国制覇！めざせ30万歩！！ウォーキング等			○	○
	3-4	歯周病予防の促進(あなたの歯を失わないために)			○	○
4.高齢期	4-1	幸齢社会への入門講座(高齢者入門の日の設定(第2の成人式))		○	○	○
	4-2	高齢者が集まれる場での高齢者の健康づくりの情報発信				○

## 1) 乳幼児期

乳幼児期では、2事業に内容を絞り、保護者も含めた家族全体の食生活改善に向けた事業を計画しています。

No.	事業名	旧事業番号・事業名	事業概要
1-1	カンタン手作りおやつ のすすめ	【1-3】カンタン手作りおやつのおすすめ	第2期アンケート結果で減少していた手作りおやつを作る家庭が増えることを目指し、育児教室・だっこらっこクラブ等のイベント時を利用した試食会やレシピ紹介を企画していく。
1-2	家族みんなで楽しい 食習慣作り！	【1-4】家族みんなで楽しく朝ご飯！	朝ご飯をはじめとした、健康的な食習慣を家族みんなで身につけられるよう、ホームページの内容の充実や、公共の場に配架するなどし、普及啓発を図る。

## 2) 学童・思春期

学童・思春期では、1事業に内容を絞り、全年代を対象として運動習慣のきっかけ作りとなる事業を計画しています。

No.	事業名	旧事業番号・事業名	事業概要
2-1	運動習慣をつけてい こう	【2-2】運動習慣をつけていこう	運動習慣を持つ人が増えることを目的にラジオ体操の普及や家族参加型の運動を推進していく。

### 3) 青・壮年期

青・壮年期では、情報発信などを通じて、自らが正しい健康感を磨き、健康保持増進行動を取れるようになることを目指します。

No.	事業名	旧事業番号・事業名	事業概要
3-1	男の健康づくり	【3-1】男の健康づくり	男性の多く集まる場に出向き、出前健康講座等を企画していき、自らの健康感を磨く働きかけをしていく。
3-2	健康情報発信！！	【3-2】楽しく運動不足解消 【3-4】ホームページに年代別の健康情報ページをつくる。	正しい健康知識・健康観を身に付けてもらうために、メール配信サービスの利用準備を開始したり、ホームページの内容充実を図る。
3-3	ウォーキングで全国制覇！めざせ30万歩！！ウォーキング等	【3-3】ウォーキングで全国制覇！めざせ30万歩！！ウォーキング等	正しい歩き方、ウォーキングの仕方を身につけ、自ら継続することで健康増進を図る。
3-4	歯周病予防の促進(あなたの歯を失わないために)	【3-5】歯周病予防の促進(あなたの歯を失わないために)	8020 運動推進員が中心となり、様々な場を活用し村民に周知することで、歯の大切さを認識し、自ら予防行動がとれるようにする。

### 4) 高齢期

高齢期では、引き続き実行委員形式によるイベントの開催や、地域のサロン活動の場を活用した、情報発信をしていくことを計画しています。

No.	事業名	旧事業番号・事業名	事業概要
4-1	幸齢社会への入門講座(高齢者入門の日の設定(第2の成人式))	【4-1】幸齢社会への入門講座(高齢者入門の日の設定(第2の成人式))	実行委員形式で、イベント型の講座を企画し、地域での活躍の場をしり、生きがいがづくりにつなげる。
4-2	高齢者が集まれる場での高齢者の健康づくりの情報発信	【4-4】高齢者が集まれる場での高齢者の健康づくりの情報発信	高齢者が集まる場に保健師等が出向き、正しい健康情報を発信していく。

#### 4 実施計画

事業 番号	事業名	ライフステージ				目的	対象者	手段	方法
		乳 幼 児 期	学 童 期 思 春 期	青 ・ 壮 年 期	高 齢 期				
No	事業名								
1   1	カンタン 手作りお やつのお すすめ	○		○		・第2期アンケート結果で減少していた手作りおやつを作る家庭が増える。	乳幼児期  青・壮年期	・レシピの配架、食育教室の開催	①育児教室・だっこらっこクラブのイベント時等に手作りおやつを試食・レシピ配布を行う。レシピを乳幼児健康診査時に配る。 ②だっこらっこクラブと食改もみじ会共催の料理教室の際は食改もみじ会を講師として食育講話を開催する。
1   2	家族みんなで楽しい食習慣づくり！	○	○	○	○	・朝ご飯をはじめとした、健康的な食習慣を家族みんなに身に付ける。	全年代	・FMラジオ放送 ・ホームページ、啓発ちらしの配架	①毎週日曜日朝1回のFMラジオ放送を継続する。 ②ホームページの内容(食習慣についてのコーナーの設置)を充実する。また、ホームページの内容をチラシにし、村の公共の場に配架する。
2   1	運動習慣をつけていこう	○	◎	○	○	・運動習慣を持つ人が増える。	全年代	・ラジオ体操教室の開催 ・講演会の開催	①ラジオ体操を広める(ラジオ体操教室の開催) ②運動習慣の入り口としてヘルスアップ教室を開催する。 ③オリンピック、パラリンピックに関連した情報を発信する。 →オリンピック後は講演形式での事業を検討する。(協議会で追加)

担当部署	関連部署	実施時期・期間	期待効果	概算費用、予算	関連既存事業	平成	平成	平成	平成	平成	
						31年度	32年度	33年度	34年度	35年度 (最終評価)	
保健福祉課	だっこらっこクラブ 食生活改善推進団体もみじ会	①② 31年以降継続	・子どもの味覚の発達に良い影響を与え、将来の生活習慣病予防につながる。	①② おやつ の材料 費・レシ ピの印 刷代・公 開イベ ントの チラシ代	・だっこらっこクラブ自主活動 ・乳幼児健康診査 ・食生活改善推進活動事業 ・3-2	①					
						②					
保健福祉課	総務課 食生活改善推進団体もみじ会	①② 31年以降継続	・共食を通じて家族のコミュニケーションが深まる。 ・特定保健指導対象数が減る。	① 予算なし ② チラシ代	・サロン活動 ・8020運動推進員 ・乳幼児健康診査 ・健康まつり	①					
						②					
保健福祉課	教育委員会 社会福祉協議会	①② 31年以降継続  ③ 31年以降1回/年程度	・HDL値が改善する。 ・子ども達の体力の向上 ・メタボリックシンドロームが減る。	① チラシ代 ② 講師代・チラシ代 ③ チラシ代	3-1・ 2・3	①					
						②					
						③					

事業番号	事業名	ライフステージ				目的	対象者	手段	方法
		乳幼児期	学童期 思春期	青・壮年期	高齢期				
No	事業名								
3   1	男の健康づくり			◎	◎	・自分の健康観を磨いてもらう。	青・壮年期  高齢期	・出前講座	①男性の多く集まる場に向き、健康講座を行う（出前講座） ②健康づくりを実践している男性に経験談を話してもらう。
3   2	健康情報発信！！			◎	◎	・正しい健康知識・健康観を身に付ける。	青・壮年期  高齢期	・メール配信サービスの活用	①メール配信サービスの利用・活用する。 ②メール配信の詳細内容をホームページで見られるようにする。（協議会で追加） ③生涯学習ガイドブックを配布・紹介する。 ④緑ことぶき連合会への会合へ参加する。
3   3	ウォーキングで全国制覇！めざせ30万歩！！ウォーキング等			◎	◎	・正しい歩き方、ウォーキングの仕方を身に付け、自ら継続することで健康増進を図る。	青・壮年期  高齢期  (乳幼児の親子参加含む)	・ウォーキング事業の紹介 ・未病センターの活用	①続けることをテーマに、ウォーキング事業1回/年開催以外に歩くことを意識した事業の取り組みを実施する。 ②神奈川県「未病」の取り組みを紹介、協力していく。 ③未病センターの体組成計を活用し測定し、自らの体の変化を知り、定期的な見える化をしていく。
3   4	歯周病予防の促進（あなたの歯を失わないために）			◎	◎	・歯の大切さを認識し、自ら予防行動をとれる。	青・壮年期  高齢期	・各種事業でのブース設置・啓発（健康まつり、ふれあい昼食会、ほのぼのクラブ）	①8020 運動推進員を中心に、様々な場を活用し、歯の健康を推進する。 ②健康まつり、その他地域活動の場等での啓発とデモンストラーションをする。

担当部署	関連部署	実施時期・期間	期待効果	概算費用、予算	関連既存事業	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度 (最終評価)
保健福祉課	食生活改善推進団体もみじ会	①② 31年度以降男子の料理クラブで1回/年。32年度生きがい事業団	・地域のリーダーとして、健康づくりを広める役割を果たす。	①② 資料代 チラシ代	2-2 3-2 3-3 ・食育アドバイザー	①				
	生きがい事業団					②				
保健福祉課	総務課 だっこらっこクラブ	①31年 32年準備。33年度より配信開始。  ②③④ 31年以降継続	・健康的で活動的な生活が送れる。 ・医療費が低減する。	①② 予算なし ③チラシ代 ④予算なし	1-3 1-4 ・やまびこ健診事業 ・がん検診事業 ・食育アドバイザー		①			
	煤ヶ谷婦人会					②				
	食生活改善推進団体もみじ会					③				
	教育委員会					④				
保健福祉課	総務課 教育委員会	①②③ 31年度継続	・生活習慣病の予防、改善 ・医療費が減る。	①チラシ代・講師代 ②予算なし ③消耗品代	・ヘルスアップ・未病改善ウォーキング 1回/年	①				
						②				
						③				
保健福祉課	食生活改善推進団体もみじ会	①② 31年度継続	・高齢者の栄養状態改善 ・運動機能の維持	①② パンフレット代	・成人歯科健康診査 ・口腔がん検診	①				
	社会福祉協議会					②				

事業 番号	事業名	ライフステージ				目的	対象者	手段	方法
		乳 幼 児 期	学 童 期 思 春 期	青 ・ 壮 年 期	高 齢 期				
4   1	幸齢社会への入門講座(高齢者入門の日の設定(第2の成人式))		○	○	◎	・自分が高齢になっても社会参加する場があることを知る。	青・壮年期 高齢期	・健康講座の開催	①住民の実行委員会を設置し、講演会などを計画、立案、実施する。広報や回覧により、周知する。
4   2	高齢者が集まれる場での高齢者の健康づくりの情報発信				◎	・高齢者が集まっている場所で、健康情報を発信する。	高齢期	・サロン活動 ・健康情報の配架	①地区別に、情報交換や健康体操を行う。 ②保健師等も入り、健康相談や健康講話を行う。

担当部署	関連部署	実施時期・期間	期待効果	概算費用、予算	関連既存事業	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度 (最終評価)
						保健福祉課	総務課 社会福祉協議会 食生活改善推進団体もみじ会	年 1 回程度	・健康寿命の延伸	① 講師料、チラシ代、報告書
保健福祉課	総務課 教育委員会 社会福祉協議会 食生活改善推進団体もみじ会	①② 31 年度継続	・健康寿命の延伸	①② パンフレット代	・宮ヶ瀬体操教室 ・柿坂サロン ・舟沢健康教室 ・清水ヶ丘サロン ・古在家、曲師宿合同ラジオ体操	①				
						②				

第2期清川村健康増進計画・食育推進計画中間見直し

平成31年3月

発行・編集 清川村保健福祉課

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2216番地

電話：046-288-3861

FAX：046-288-2025

ホームページ

<http://www.town.kiyokawa.kanagawa.jp/>